

特化型AIアシスタント「Summaria」で変わる特許実務の未来

日本の特許実務に特化した弁理士監修の生成AIアシスタント。先行技術調査から明細書作成・中間処理・無効化書面までを一気通貫でカバーし、高機能と月額25,000円～という高いコストパフォーマンスを両立しています。

Summariaの主要機能と強み

日本の特許実務を一気通貫でカバーする広範な機能



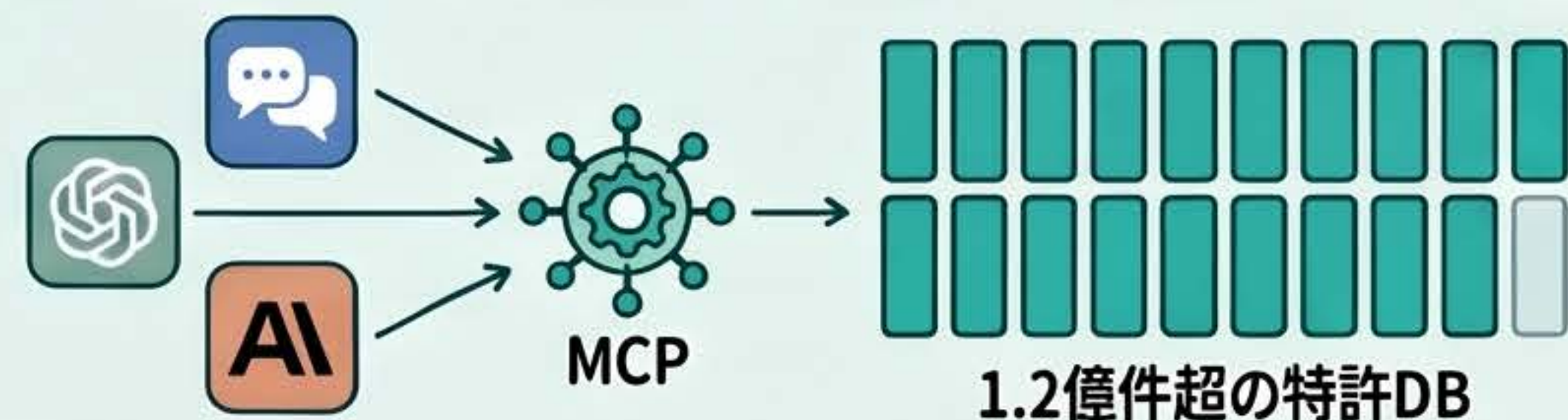
圧倒的なコストパフォーマンス

月額 **2.5万円**～
(税別)



法人向け年契約で月額25,000円。月約3.1時間の工数削減で損益分岐点に到達。

社内AI基盤とつながるMCP (Model Context Protocol) 対応



ChatGPTやClaude等の日常ツールから1.2億件超の特許DBへ直接アクセス・解析可能。

導入のメリットと運用の注意点

高い調査・分析精度と業務負荷の低減

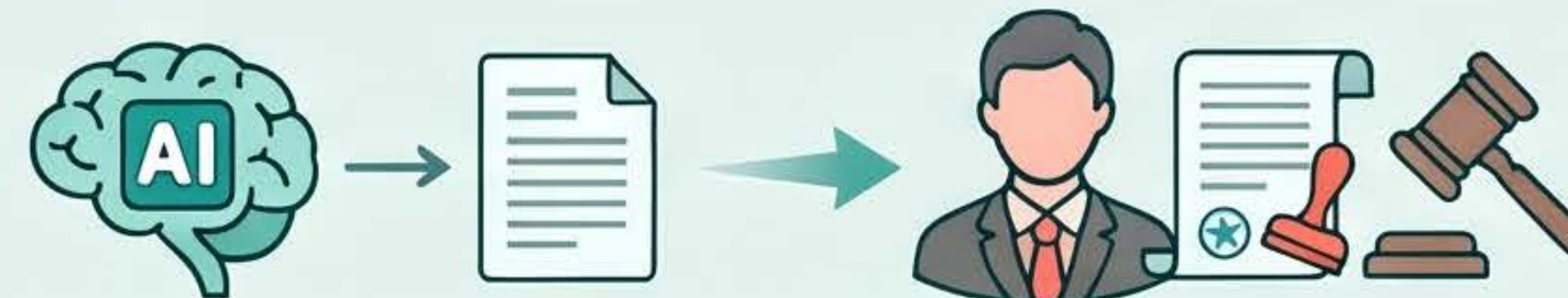


再現率 (検索競技大会過去間上位30件)
検索競技大会過去間での再現率100% (上位30件)や、スクリーニング時間80%削減を実現。



スクリーニング時間

人間による最終判断 (Human-in-the-Loop) の徹底



第一稿作成・情報圧縮

最終的な法的判断・確認

AIは第一稿作成や情報圧縮に活用し、最終的な法的判断・確認は専門家が担当。

厳格なデータガバナンスと社内ルールの構築



⚠ 未出願発明などの情報管理が重要。

AI学習には非利用だが外部APIへ送信されるため、未出願発明などの情報管理が重要。